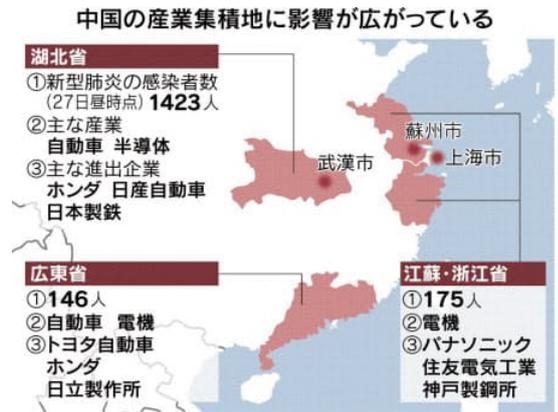


【緊急レポート】新型肺炎とその影響 ①

■ 新型肺炎の現状

中国の湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大が続いている。

中国国内の感染者数は重症急性呼吸器症候群(SARS)を上回った。ただ、感染者数の99%は中国国内で、WHOは中国国外については「比較的まだ少ない」との見解。ドイツ、ベトナム、日本の3カ国については人から人への感染を確認した。



■ 新型肺炎と留意点

- ・詳しい感染経路は解明されていないが、重症化するケースは限られる。
- ・厚生省は「過剰に心配することなく、風邪やインフルエンザ予防と同様にマスク着用、手洗いなどの徹底を」と呼びかける。
- ・現段階でワクチンや特効薬はなく、発症した場合は病状に応じた対症療法
- ・中国などでは治療法の確立に向け、研究が進む

感染拡大を防ぐには…

マスク・手洗いを徹底

十分な栄養と睡眠

新型肺炎に関する厚生労働省の相談窓口

電話番号 03-3595-2285

受付時間 午前9時から午後9時

人混みに近づかない

	新型肺炎	重症急性呼吸器症候群 (SARS)	中東呼吸器症候群 (MERS)	インフルエンザ
症状	高熱や肺炎	高熱や肺炎、下痢	高熱や肺炎、腎炎、下痢	高熱、頭痛、関節痛など
感染源	コウモリ?	コウモリ	ヒトコブラクダ	人の中で感染
感染者数	6000人以上 (29日時点)	約8000人 (2002~03年)	約2500人 (2012年~)	年間約1000万人 (国内)
感染者1人からうつる人数	1.4~2.5人	2~4人	1人前後	約2人
潜伏期間	2~14日?	2~10日	2~14日	1~3日
致死率	2~3%	約10%	約34%	0.1%以下 (国内)
流行地	中国	中国や台湾、カナダ、シンガポールなど	アラビア半島とその周辺	世界各地

■ 新型肺炎の影響 (野村総合研究所)

- ・日本の2020年GDPは7,760億円押し下げられる
- ・悪影響が1年続く場合にはGDPは0.45%も下落
- ・中国の成長率2%低下で世界の成長率0.33%、日本の成長率0.10%低下
- ・中国工場休止→FA/自動車関連、さらに輸出ダウン
- ・訪日観光客が今後減少した場合、消費に直結、百貨店、店舗販売減
- ・東南アジア観光も打撃(中国人観光客3000万人)、タイ3000億円損失
- ・世界保健機関(WHO)は29日、2回目の緊急委員会を30日に開催を決定「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」にあたるかどうかを討議する。委員会の助言を踏まえWHOは緊急事態の宣言の必要性を判断する

